

意外と知らない発車メロディの真実

8606F

1、はじめに

※発車メロディとは、やはり音を聴いて楽しむものなので、これをただ読むのではなく、動画や駅などで実際にメロディを聴くことで、より身近なものに感じられると思います。

発車メロディは、電車が発車することを乗客に呼びかけるために流されるものです。通勤・通学の際にいつも聴いている人も多いでしょう。発車メロディは私たちの身近なところで日々活躍しています。

発車メロディは、何の目的で導入されたのでしょうか。発車メロディにはどんなものがあるのでしょうか。この機会に、私たちの身近にありながら以外に知らない、そんな発車メロディの秘密を解き明かすことにしましょう。

2、発車メロディの歴史

ここでは、現在日本で最も多くの発車メロディを持つJR東日本の例を挙げます。

JR東日本における発車メロディは、1989年3月11日に渋谷駅と新宿駅で導入されたのが始まりとされています。それまでは発車ベルが主流でしたが、発車ベルの無機質な金属音は当時の通勤・通学客のストレスにもなっており、苦情も多く寄せられていました。そこで、YAMAHAにメロディの制作を依頼し、いくつかの駅で実験的に発車メロディを流すようになりました。

駅のホームに設置されているスイッチ。車掌がこれを利用して発車メロディを鳴らします。→

その後発車メロディが好評であったことを受け、様々な制作会社が発車メロディの制作を担当するようになりました。また、通常の発車メロディ以外にも、その駅でしか聴くことのできない「ご当地メロディ」や、広告用として期間限定で使われる「期間限定メロディ」など、発車メロディは様々な形で全国に普及していきました。



3、発車メロディの種類

現在発車メロディの制作にかかわっている主な制作会社としては、以下が挙げられます。

- ・ 日本電音（ユニペックス） … 「春」「せせらぎ」など。有名なものが多く、山手線でも多く使用されている
- ・ 東洋メディアリンクス … 東日本の全域で使われている
「Water Crown（水の冠）」 現在 J R 東日本で最も多く使われている
「Verde Rayo（緑の光線）」 横浜線で多く、少し長い ver2 が京葉線にある
「Gota Del Vient（一滴の風）」 総武線で多く使用
「Cielo Estretrado（星空）」 五反田で使われたことが始まりとされている
- ・ 五感工房 … 現在会社自体は統合されているが、作曲家の塩塚博氏が制作を担当した「J R—S H」シリーズは各地で聴くことができる
- ・ テイチク … 近年多くの駅で導入されている。高田馬場と新座の「鉄腕アトム」や、京都市交通局の発車メロディも担当
- ・ サウンドファクトリー … 「S F—」という形で使用されている。大崎や常磐線各駅停車で多く聴くことができる

このように、様々な会社が発車メロディの普及に大きく貢献しています。動画等を観れば、さらに様々な発車メロディを聴くことができるでしょう。

4、発車メロディを導入したことによるメリット

J R 東日本の発車メロディの元祖とされる YAMAHA は、それまでのベルとは違い、ピアノやハープなどの耳に優しい音をメロディに取り入れました。ホーム上はただでさえ多くの人であふれかえっており、ベルの「ピロピロピロ」という音を聴くと、どこかせわしなく、急かされているような感じがします。実際、当時は駆け込み乗車がとても多く、それを抑えることも一つの課題でした。楽器のなめらかなメロディによってゆっくりと乗車を促すという意味で、発車メロディはとても画期的なものであったといえます。

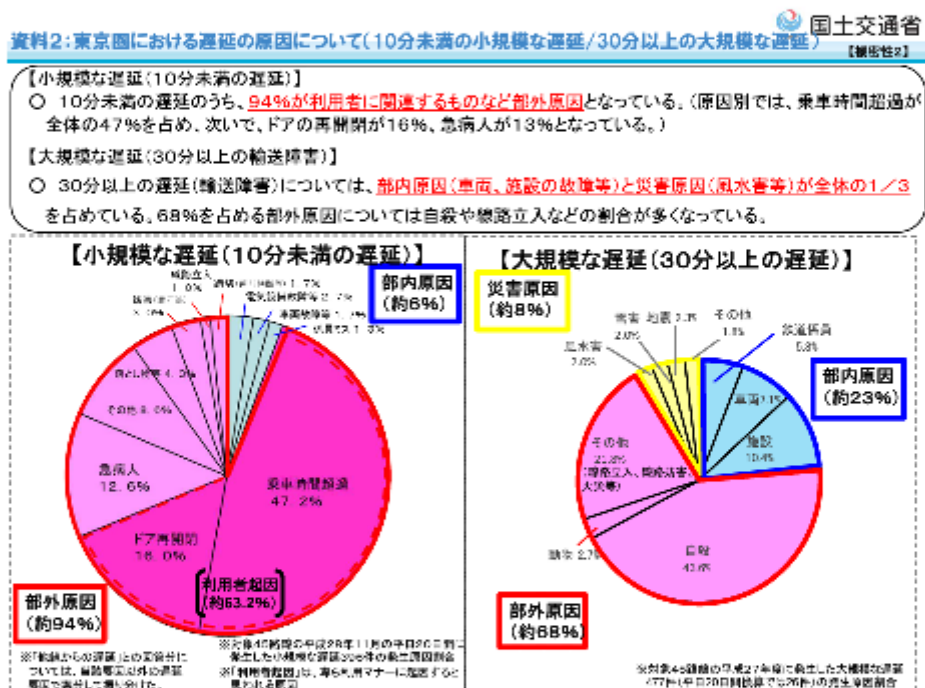
また、ミュージシャンの向谷実さんは、自身の著書において発車メロディの果たす役割について述べています。

“発車メロディとは、これから電車に乗る人を後押しする曲です。それが完全終止で終わっていたら、これから電車に乗って何かをしようとする人の出鼻をくじくことになります。電車に乗って、学校に行く人、仕事に行く人、あるいは家に帰る人、みんな電車を降りた後のトゥー・ビー・コンティニューがあり、鉄道を利用してその先の何かに向かっていて。その人たちに対して「あんた、終わり」みたいな感じで電車に乗せるのは大変失礼な気がするのです。”

発車メロディとは、機能的な役割だけでなく、電車に乗る人に対するメッセージ性も含んだ、一つの曲であるということ作曲家としての視点から出張しています。

5、発車メロディの今後の課題と対策

先ほど挙げたように、発車メロディは多発する駆け込み乗車を抑えるために取り入れられたものです。しかし、現状では駆け込み乗車によるトラブルが後を絶ちません。国土交通省より以下のような調査結果が出ています。



※国土交通省資料「遅延の『見える化』」より

10分未満の遅延の原因において、「乗車時間の超過」が47.2%、「ドア再開閉」が16.0%を占めています。駆け込み乗車をすれば、その分ドアの開け閉めをしなればなりませんし、遅延の原因にもなります。このデータは、駆け込み乗車をする人がいまだに多いことを裏付けているといえます。

こうした中、常磐線各駅停車では、今年の8月1日から亀有（東京都葛飾区）～取手（茨城県取手市）の間でホーム上のスイッチを押して流す発車メロディを使用しない実験を始めました。車両内に設置された車外スピーカーを利用してドアの開閉を知らせる仕組みです。

通常の発車メロディでは、改札口まで音が聴こえてしまい、それが駆け込み乗車の原因になっているといえます。駆け込み乗車等のトラブル防止に向けてこれを期待する声も多く上がることでしょう。

しかし、発車メロディは日本で生まれたものであり、駅ごとに個性があるのも特徴です。今回この実験が実施される常磐線各停でも、金町や北小金などでは「ご当地メロディ」が使われていることで有名でした。一鉄道ファンとして、ご当地メロディが聴けなくなるのは寂しい気持ちもあります。

発車メロディは日本で初めて導入され、今や世界でも注目を集める、立派な日本独自の文化です。もちろん、乗客の安全は何にも代えられませんし、それも日本が誇るべきアイデンティティの一つです。だからこそ、「文化」と「安全」の両立のために、発車メロディがこれからも普及してほしいと考えています。

6、参考文献・サイト

- ・塩塚博著「駅メロ！」（扶桑社、2013年）
- ・向谷実著「鉄道の音」（アスキー新書、2009年）P, 76-81
- ・[遅延の「見える化」を開始！ - 国土交通省](#)（8月22日確認）

<http://www.mlit.go.jp/common/001215328.pdf#search=%27%E5%9B%BD%E5%9C%9F%E4%BA%A4%E9%80%9A%E7%9C%81+%E9%81%85%E5%BB%B6%E3%81%AE%E8%A6%8B%E3%81%88%E3%82%8B%E3%81%8B%27>

- ・[Amazon | 春日電機 動力用開閉器 BSW215B3](#)（8月22日確認、画像引用）

https://www.amazon.co.jp/%E6%98%A5%E6%97%A5%E9%9B%BB%E6%A9%9F-BSW215B3-%E5%8B%95%E5%8A%9B%E7%94%A8%E9%96%8B%E9%96%89%E5%99%A8/dp/B00HLBD5Y0/ref=sr_1_1?ie=UTF8&qid=1534574935&sr=8-1&keywords=%E7%99%BA%E8%BB%8A%E3%83%A1%E3%83%AD%E3%83%87%E3%82%A3%E3%83%BC%E3%82%B9%E3%82%A4%E3%83%83%E3%83%81